

—エマルジョン、ラテックス消臭剤—

RAN E-70

販売元：株式会社ジイ・アンド・テイ商会
横浜市中区山下町 23 番地 日土地山下町ビル 2F
Tel : 045-681-3388 Fax : 045-661-1670

RANE-70 は特に合成樹脂、合成ゴム、EVA などのエマルジョン、ラテックスの残存モノマー類、酢ビ、エチレンモノマーなどに効果的な消臭剤です。また、有機溶剤を含有させるエマルジョン、ラテックスに効果的である事は大きな特色であります。環境衛生品質の問題もあり、向後本製品の応用範囲は期待出来る。本製品は安全に特に力を注ぎ、ほとんど凡て食品添加物によって構成されているため、PL 法下理想的であると言えます。

弊社は今までに RAN E-31 等の製品を市販しておりましたが、性能を改良し消臭の対象を更に拡大し、しかも対エマルジョン重量の 1.0%以下の添加で消臭目的を達しようとし、従来拡散、捕捉、吸着の三元因子均衡化に還元過程を加味したものに、今回新たに悪臭因子へ速やかに固定化させる事により一層効果を重的、質的及び対象の拡大に貢献させたものであります。しかも物理化学的であるため全く安全、無害に品質設計致しました。エマルジョン、ラテックスなどの消臭に対しては **RAN E-70** を水で希釈せず、このまま添加します。常温でエマルジョンにて滴下添加します。以下に物性、特徴、使用上の注意を記述します。

物性：RAN E-70

項 目	
外 観	透明水溶液
P H	7.0 ± 0.5
比重 (20℃)	1.0 ± 0.2
電 荷	非イオン

特徴及び使用法：

1. RAN E-70 はほとんど凡て食品添加物と天然ヒバ油誘導体から構成される無害且つ安全な製品で、効果は速効的であり、持続的である。しかも危険物、法規制物質、金属、重金属など、有害物質は含有しておりません。
2. 本製品はエマルジョン、ラテックスの残存モノマー類、添加薬品などによる悪臭除去に好適で、希釈せずにこのまま添加し、添加量は対エマルジョンの 1.0%以下です。
3. 親水、親油をとわず、溶剤含有エマルジョン、ラテックスの減消臭にも効果的であり、かかる性能は他に類例を見ません。親水性溶剤には特に効果的です。
4. RAN E-70 は使用に当たり、常温添加、また重合反応終了時の高温、レドックス反応の如き中温にても常温時添加する事が好ましく、添加量は対エマルジョン 0.6～1.0%の間である。1.0%以上の添加を必要とする場合もあります。
5. 本製品の効果はエマルジョン、ラテックスとの均一混合化が骨子であるため、低粘度エマルジョン、ラテックスの場合、添加後、攪拌時間は 15～20 分、高粘度で 30～40 分の攪拌混合を行い、また本製品の添加も一度に加えずに tapping 式に加える事が肝要で、要は均一混合させる事です。常温での添加効果の方が高温添加より効果的です。
6. 常温の場合のチェックは添加、攪拌終了後 3 時間で行います。
7. RAN E-70 のエマルジョン、ラテックス消臭においての標準は対エマルジョン 0.6～1.0%強、止む得ぬ場合に 1.0%を超えることがあるが、そのケースは割合少ない。

性能：

下記の各試験薬品の添加表示量を各々 500cc のコルベンにとり、RAN E-70、市販品（茶葉より乾燥抽出、フラボノイドが主力と推定）をスプレーにより添加、官能テストで消臭と判定された時点の所要 g 数を測定しました。RAN E-70、市販品は予め水で 5 倍に希釈して使用しました。

試験薬品	同添加 cc	RAN E-70 添加量 g	市販品添加量 g
28%アンモニア	0.3cc	0.7g	4.9g
99%酢酸	0.3cc	0.6g	5.8g
30%ホルマリン	0.2cc	1.6g	20.3g
トルオール	0.5cc	0.3g	消臭不能
スチレン	0.5cc	1.9g	消臭不能
イソプロパノール	0.7cc	0.6g	消臭不能

使用上の注意：

1. RAN E-70 はほとんど中性で、非イオンであるため、カチオン系エマルジョン、ラテックスの場合も使用できます。ただし、カチオン系エマルジョンの場合は、前もって安定試験、性能試験を行った上の事です。重合反応前には加えない事。
2. 常温消臭の場合、攪拌添加後、放置しますが、その場合 5 時間内に 1 回、15～20 時間に 1 回 10 分位、攪拌する事も効果的であります。
3. 製品成分は全く無害ですが、手についたり、目に入った場合、10 分以上の水洗いを行い、目に入った場合は直ちに清水で洗い、状況により医師の治療を受けて下さい。
4. 本製品は直射日光を避け、27℃以下で保管する事が肝要である。使用の都度、容器は密閉する事。
5. 乳幼児の手の届かぬ所に置き、口に入れたり、飲まない事。
6. 本製品の消臭は各社により消臭方法に工夫が行われ、独特のノウハウが出来る可能性があります。
7. 本製品の使用によるエマルジョン、ラテックスには対候性の問題はないですが、一応、被膜物性と共に予備テストを行い確認する事をお願い致します。
8. 本製品は希釈せずにエマルジョン、ラテックスに加える訳ですが、その場合、混合、安定性、保存安定性、(加速試験などにてチェック)を十分確認して下さい。また、被膜性に就いても、予め性能確認をお願い致します。
9. 本製品を用いて消臭した時にラテックス類を用いて成型する事も加工時に於ける臭気製品の臭気を抑止する事も可能です。
10. 適量より過剰に本製品を添加すると消臭性能を却って劣化する故、前もって適量範囲を設定して下さい。一般には 0.6～0.8%で使用できれば理想的です。

荷姿： 18 kg入 アトロン缶（一斗缶）